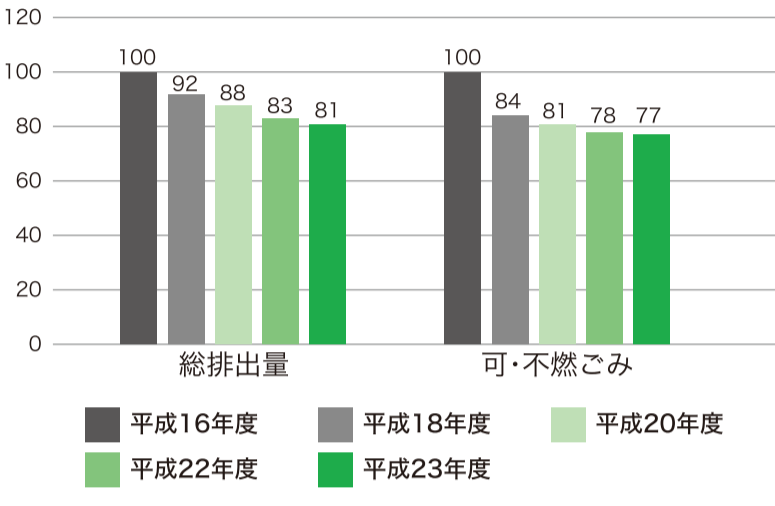


(単位:t)

	総排出量	可・不燃ごみ
平成16年度	26,014	16,804
平成18年度	23,911	14,081
平成20年度	22,904	13,535
平成22年度	21,477	13,078
平成23年度	21,157	12,937

ごみ収集量の推移 (平成16年度を100とする)



市民のみなさまのご理解とご協力により、平成17年10月のごみ有料化以降は着実に減量を達成しています。しかし、前年に比べると、不燃ごみ・粗大ごみの収集量が少しづつ増える傾向にあります。今後もごみの減量と分別排出にみなさまのご協力をお願いします。

また、ごみの減量だけでなく、総資源化率を維持しながら、資源物も減量できています。これは、市民のみなさまの口頃のごみになるものを減らす取り組みへの協力により、家庭に入ってくる資源物の量が減ってきていることが数字として表れています。資源物を再資源化するためには多くのエネルギーと多額の費用を要します。

今後も、ごみの減量とともに資源物の減量にもご協力いただきますようお願いいたします。

# 平成23年度もごみを減らすことができてきました。今後ともご協力をお願いします。

## ごみを減らすための有効手段として、4R運動に取り組みましょう。

私たちが生活をしていく上で、ごみは必ず付いてまわる問題です。ごみを減らすためには、私たち一人ひとりがごみに対する意識を持つことが大切です。一度、普段の生活を振り返っていただき、ごみを減らす4R運動に取り組みましょう。

「4R」には優先順位があります。4Rの中で、環境面に負担がかかり多額の費用を要するリサイクルについては他の3Rと横並びではなく、一番順位の低い4番目の手段とし、できるだけリサイクル以外のRを優先しリサイクルには頼らないことが重要です。

### Refuse (リフューズ)

#### 発生回避

ごみになるものを買わない、断ること。

・マイバックを持参してレジ袋を断る。

### Reduce (リデュース)

#### 排出抑制

ごみの量を減らすこと。

・詰め替え製品を利用する。  
・長く使える製品を選んで購入する。

### Reuse (リユース)

#### 再利用

使ったものを廃棄せずに、そのまま使うこと。

・フリーマーケットの活用。

### Recycle (リサイクル)

#### 再生利用

使ったものを廃棄せずに再び資源として利用すること。

・古紙や使用済みペットボトル等から作られる再生品の利用